

彙報

△二〇一三年度 立教大学日本文学会委員  
は、左記の通りになりました。「順不同」  
会長

藤井淑禎

教員委員

石川巧・沖森卓也(会計)・加藤陸(事務局長)・小嶋菜温子(編集「日本文学論叢」)・鈴木彰・藤井淑禎(会長)・編集「日文ニュース」・水口幹記・水谷隆之(編集「立教大学日本文学」)・林淑美

卒業生委員

阿久津智・川村裕子・小森潔・千田洋幸・出口久徳(監査)・宮川健郎・安原眞琴  
院生委員

〔事務担当〕鈴木ひとみ(チーフ)

石川彦太郎・泉屋咲月・鶴口大志・返町美里・千野暁生・戸澤千奈美・馬場真美子・星野響子・堀越萌由子・湯本優希・齋藤摩祐・袖林麻衣子・中辻智子・宮田航平・渡辺多加史・渡部裕太

〔編集担当〕塩見香奈(チーフ)

松田祥平・池田佳樹・大塚裕未・中村優一・岩崎祥子・提みなみ・田中美和子・仲井眞建一・本山八重子・安尾太一・山野悟

△二〇一三年度立教大学日本文学会大会

日時 二〇一三年七月六日(土)

午後一時三〇分

会場 立教大学 池袋キャンパス  
五号館 五二二教室

〈研究発表〉

(1) 『黒死館殺人事件』論 法水はかく逸せり

(2) 松田翔平(後期1)  
解説者・亀井勝一郎の出版―雑誌『新女苑』読書の頁―をめぐって―

赤堀杏奈(後期1)  
(3) 吉屋信子が描いた「戦後」―「嬢の幻想」を中心に―

松本知珠(後期1)  
(4) 複合動詞「〜切る」、「〜抜く」、「〜通す」の意味分析

郷 文君(後期1)

(5) 地域社会における中世文芸の受容と

再生―南薩・坊津という窓から―  
鈴木 彰(本学教授)  
(6) 西鶴晩年の俳諧について  
水谷隆之(本学准教授)